

2009年11月18日

オープンガバメントクラウド・コンソーシアムとメイド・イン・ジャパン・ソフトウェアコンソーシアムとの事業連携に関して

オープンガバメントクラウド・コンソーシアム(OGC・代表幹事 須藤修 東京大学教授 *1)とメイド・イン・ジャパン・ソフトウェア コンソーシアム(MIJS・理事長 内野 弘幸ウイングアーク テクノロジーズ株式会社 代表取締役社長 *2)は、日本国内における、開かれたクラウドコンピューティング環境の整備の実現と世界に向けたサービス開発を目指し連携することに合意した。

OGCは、クラウド基盤の標準化を実現する Open API の整備とその公開、クラウド環境のセキュリティやガバナンス機能の強化と基準の整備、クラウド環境を支えるデータセンターの環境性能の最大化を実現する設計とその公開、クラウド時代を支える高度 IT 人材育成を目指し、各レイヤーの専門企業 20 社が結集した。

一方 MIJS は、製品の相互連携を行った上で国内に留まらず製品を海外展開することを目指して、日本の有力ソフトウェアベンダー 40 社が結集した。そして、クラウドコンピューティング環境上でのサービス提供を計画しており、SaaS 事業の本格展開を迎えようとしていた。

OGC は、国内の SaaS 企業を支援するビジネスモデルを当初より設計しており、SaaS 企業を会員に加えていない。MIJS は、オープン且つ世界に通用するクラウド基盤上でのサービス提供を望んできており、双方の設計思想とビジネスモデルが一致し、日本のクラウドコンピューティングの中軸となるモデルの構築を目指して連携に至った。

当初は、双方の技術分科会の連携を行い、API の統一を実現する。その後、OGC がデザインしたオープンクラウド基盤上でサービス提供を開始する。更に、それぞれのサービスの連携を実現する為、クラウド間の認証連携(世界標準仕様カンターライニシアティブ)を世界に先駆け実現する。この認証連携の実現により、ユーザーはネット上の複数のサービスを一度の認証で(シングルサインオン)容易に安心して利用する事が可能になり、現在サービス単位で有している ID パスワードの煩わしい管理から解放される。

今回の連携は、一般企業向けに留まらず、やり直しを強いられる電子政府分野や、その開発整備が遅れている医療連携分野への展開をも計画しており、来年

4月以降には具体的なサービス開始を計画している。さらにここで実証されるベストプラクティスをこの事業連携を通して、日本発のソフトウェアサービスとして世界に発信してゆこうと考えている。

AA

***1** OGCはこれまでの電子政府の課題を踏まえて、政府、自治体がクラウド環境構築に成功するよう、各階層のリーディング企業が設計思想を共有して、To Beモデルを提言し、構築を支援するために結成された団体。そのために次の4点を中核課題に据えている：

クラウド環境のオープン化を実現する、OpenAPIの整備・推進・普及

クラウド環境の信頼性向上のためのガバナンス機能の強化と監査

クラウド環境を支える、環境配慮型データセンターのデザインの普及と分散配置

クラウド環境を支える、高度IT人材育成による産業振興

現在のメンバーは次の20社：アクセンチュア/伊藤忠テクノソリューションズ/インターネットイニシアティブ/インターフュージョン・コンサルティング/インテック/有限責任監査法人トーマツ/サン・マイクロシステムズ/新日鉄ソリューションズ/TIS/日本AMD/日本オラクル/日本サード・パーティ/日本電気/日本ユニシス/ネットワンシステムズ/プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント/フリービット/マカフィー/豆蔵OSホールディングス/ミラクル・リナックス

URL: <http://www.open-gov-cloud.jp/>

***2** MIJSは、ソフトウェアベンダーの側から、ビジネスに対するITの顧客満足度に応えるため、市場で求められるソフトウェアの製品間連携によるシステム基盤を構築し、国内・海外に向けて「日本のソフトウェア」に対する優秀性の認知向上、市場におけるビジネス基盤の強化をはかります。

(1) ソフトウェアのジャンルごとに製品間のインターフェイスを整備して標準化をはかり、業種業態を問わずSOAをベースに今後のサービスのモデルへもつなげていく。MIJSに参画する企業は、顧客ニーズの多様化を吸収する製品連携をコンソーシアムが策定する基盤上で実施する。

(2) MIJSは、国産ソフトウェアプロダクツの内外の競争力を高める基盤づくりと、市場への訴求、顧客ニーズを取り込んで参画企業へフィードバックし、製品サービスの強化を推進する。

これにより、MIJSは、国内ならびに海外に向けて「日本発」のソフトウェアによるビジネススキームを構築していきます。

現在のメンバーは次の40社（正会員）アクシスソフト/アクセラテクノロジー/アプレッソ/インフォテリア/インフォファーム/ヴィンキュラム ジャパン/ウイングアークテクノロジー/エイジア/NTTデータ/イントラマート/ガイア/クオリティ/サイボウズ/JBアドバンス・テクノロジー/システムインテグレータ/東洋ビジネスエンジニアリング/ビーエスピー/フューチャーアーキテクト/ブロードリーフ/リード・レックス（準会員）アクロスゲートグローバルソフトウェア/WEIC/NRIセ

キュアテクノロジーズ / NEC / NTTコミュニケーションズ / エフ・シー・エス / エルピーアイジャパン / クレオ / 構造計画研究所 / コクヨS & T / システムエグゼ / ディーバ / テラスカイ / ネオレックス / 日立製作所 / パナソニック ソリューションテクノロジー / 日立ソフトウェアエンジニアリング / 富士ゼロックス / 富士通 / マイクロソフト / ラクラス

URL : <http://www.mijs.jp>